

平成十七年八月八日、愛知万博長久手会場で行われた「第十回全国中学・高校ディベート選手権」で、本校同好会が優勝の快挙を成し遂げた。滝学園が全国優勝のタイトルを取ったのは、その歴史上初めてである。



日本一のチームの素顔

そもそもものきつかけは授業

さかのぼること二年、授業・学年行事でディベートを体験した生徒のなかから、全国大会を目指そうという動きがあり、晴れて十六年春、初の全国大会出場。創部メンバーは高校の部へあがり、新たな中学メンバーとして集まったのが、浅尾友里愛・岩田奈子・加藤凱都・永峯かりん・中村凌輔の五人である。

かけもちを逃げ口上にせず

メンバーは全員、他のクラブに所属しながらディベートの活動も行っている。当然、練習時間もままならないが、それぞれが工夫して、大会のための準備にあてているのが現状だ。

生きるチカラそのもの

ディベートの効用とはなんだろうか？顧問の服部智美先生は「お堅く言えば、情報を集める力・話を聞く力・論理的に議論する力が養われることでしょう。」
では、やわらかく言う？
「新しいことに挑戦する好奇心と、達成感を得る喜びでしょう。」

きっかけは？ 実際の試合観て、やろう！（永峯：N）

入部のきっかけは？
N土曜講座をのぞいたのが最初かな。それで興味もって、実際の試合を観たら、もうやろう！って。
Aもともと意見を言うのが好きで。
かけもちで大変でしょ。魅力は？
N認めてもらえることかなあ。
A準備が大変だけど、勝ったときの達成感が、そりやもうすごくて。
ディベートで勝つコツってあるのかな？
Nくじ運とかありますよ。
A肯定・否定側で有利不利とかも。経験を積んで、試合勘もついたし。
今回の勝因はなんだろう？
Aチームが結束したこと。お互い意見を言い易い感じになつて、うまく役割分担ができたっていうか。
今まではできなかったの？
Aうーん。ディベートって、事前準備と、その場の反応で勝負が決まるんです。で、これまで議論の最中にメンバー同士で意見が合わないことも。
N自分の意見まとめるのに必死だった。

なんか変わった？ 理屈っぽくなりました。（浅尾：A）

N結局、自分の思ったとおり、パーって言っちゃいますけど。
問題はこの人なんだ。
Aまあ（笑）。私は出てきた話を比べる立場なので、とにかく必死に考えます。最近、思っていることが読めるようにもなりましたし。
ディベートをして、変わったことってある？
N理屈っぽくなりました。それとやっぱ、人の話をよく聞くようになりました。
Aでも、訳わかんない話は右から左ですけど（笑）
思わず突っ込んだり？
Nしちゃうときも。
みんなにアピールしてもらおうかな。
N面倒くさいでしょう？と、よく聞かれるんです。マイナスイメージが多いのかな。でも、コツコツやって、やっただけ報われる。そういうのって、結構いいと思うんです。
Aぜひ、実際の試合を観て欲しい。誤解されてるけど、単なる言い争いなんかじゃない、頭を使ったゲームです。
（中二からディベートを始めた、浅尾さん・永峯さんのお二人に聞きました）

優勝 ベストコミュニケーション賞 ベストディベーター賞

ぜんぶ みんなの力を合わせて取れたものだから 思うんです

世界陸上25位

かがやきをもとめて

八月、ヘルシンキで行われた世界陸上大会に、本校陸上部OBで、競歩選手の杉本明洋さん（京大院）が出場。二五位という成績を残した。京大から今大会へ出場したのは五年ぶり。もちろん滝学園関係者としては初出場の快挙である。



競歩選手杉本さん

杉本さんは、高校二年生のときに競歩と出会い、以来ひと筋。高校時代、地区では勝つものの、全国的には無名だったが、大学で飛躍的に成長。大学で学んだ運動理論をもとに、研究・実践を積み重ねて、世界への切符を手にした。高校時代から、ずっとひとりで競歩と向き合ってきた杉本さんにとって、競歩とはどんな存在だろうか。世界で戦うアスリートの声を紹介する。

別れ際に、来年はどうするの？記録を狙って、もっともっとハードな練習をするの？と尋ねました。素晴らしい言葉が返ってきました。「この一年、歩くこと自体が自分にとって、大きな喜びになったと明確に思えるようになってしまったんです。歩けるだけで嬉しかったんです。毎日、授業が終わった後、夜一人で練習しています。歩きながら、本当に幸せなんです。この一年、この喜びを膨らませてゆくことが、そのまま記録の短縮と結びついていったと思うんです。来年も、この喜びをもっともっと大きくしてゆくことをやってゆこうと思います。先日、三十五kmを歩いたんですが、初めてその距離を最後まで楽しめたんです。本当にうれしかったです。人がみたら、黙々と歩いているだけですが、何が楽しいんだらうかと思うでしょうが、僕の中では楽しいんです。楽しめるときが一番伸びると思うんです。」

常 足 秘 宝 館
http://www.naniashi.com/h
thoukan/「運動科学」(小田
伸午著、丸善出版)より

先輩に続け

東海大会へ

中学陸上部の五人が管内・西尾張・県のそれぞれを好成績で通過し、東海大会に出場。日ごろの成果を十分に発揮した。すばらしい夏となったようである。



【滝中陸上部】

走り幅跳びの松浦君は六mを越すジャンパー。校内広し、といえども、これだけ跳べる者はそうはいないはず。男子陣のムードメーカーで、「本番に強く、結果でチームを引っ張る存在」と顧問の大倉先生は評価する。

中学管内大会結果(7.21)

～)

主な結果は以下のとおり

- 剣道部男子 : 団体優勝
- 剣道部女子 : 団体3位
- 柔道部男子 : 団体3位
- 柔道部女子 : 団体3位
- 卓球男子 : 団体3位
- テニス女子 : 団体優勝
- サッカー : 3位

※3位以上を掲載

活動日：平日および土曜講座のある土曜日の午後

部員数：男子23名女子28名

活動方針：

「部活を通して能力を高める」ことを目標に、インターバルトレーニングを実施。ひたすら一生懸命鍛えるのではなく、限られた機会に集中することを目指す。

四百mリレーは、箕浦・田村・柴田・真野さんの仲良し四人組。個々の力も十分だが、四人がバトンをつなぐと、もっとすばらしい結果を生み出すという、ドリームチーム。五人は大会に向け、地道な練習を続けてきた。そうした努力が実を結び、今回の栄光をつかめたのだろう。

遊歩道のさきにある
緑の世界



炎って不思議 何色にもかがやく

トーチをやる仲間を見つめる。彼らが朝や昼、休みの日も集って練習してきたことを知っている。揺れる火の向こうに笑顔が見える。もう少し!どうか最後まで、うまくいきますように:



七月二十八日から三〇日にかけて、夏休み中の野外体験。ある程度の施設は整っているものの、滝での日常に比べれば、圧倒的に不便な自然の中での日々。天候に恵まれた二泊三日。予定した野外活動を無事行うことができた。

じぶん ともだち じぶん

ホットドッグを焼いた。こんな作り方、初めて知った。なんか、おいしい。ともだちが、よく見える。仕事とか、作業とか、じつと観察していると、その人のことがわかる。



中 2 夏

長野 乗鞍 キャン

自分のをかじった。かじりながら、自分のだけじゃなく、みんなのもの、うまく焼ければいい、なんて思った。皿に舞い落ちた煤も、生ぬるい牛乳も、菌ごたえのあるじゃがいもも、ここでしか味わえない。そんな気がした。

山なんて どれも同じだと思ってた



なんとか岳って、ガイドさんや先生が熱心に説明してくれるけど、よくわからない。山だけ、それって、山が見えてないだけなのかな。山とともに生活している人は、目印とか神秘的な景色とかで、大切な存在なんだろうなあ、目の前の、この山が。

「今回キャンプで泊まったところ、一之瀬って言うんだけど、この一之瀬って地名、他の土地にもあるんだって。」
「それって、城下町とか、京都とかと同じ?」
「丸の内みたいなやつね。」
「へええー。」
「で、どんな意味なんだろう?」
「一番、瀬に近いってことじゃないの。」
「なるほどね。いい場所ってわけだ。」

five thousand? in Taki on Sep. 19&20

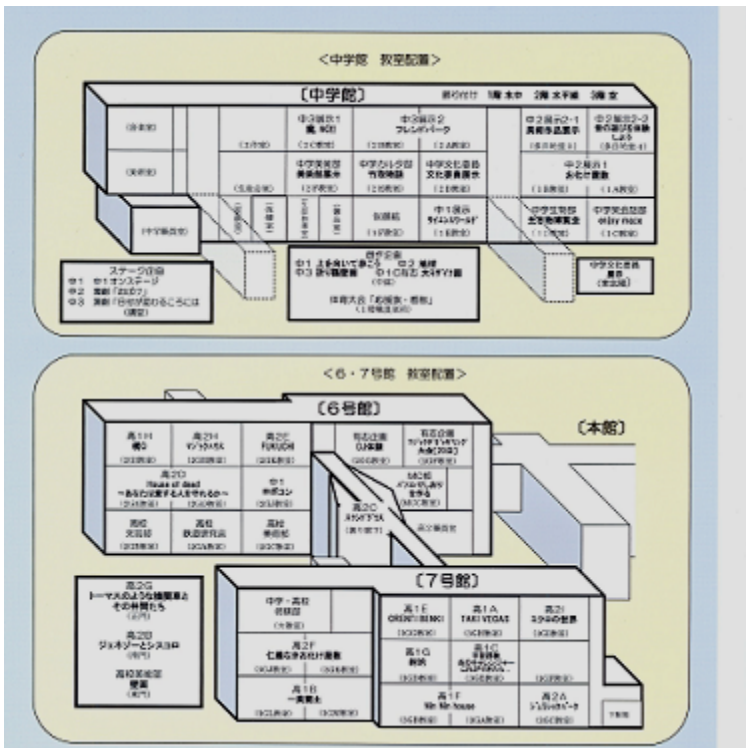
今年の長月祭・文化発表会の目玉といえば、チケットによる友人招待ができること。

招待することができるのは二人まで。すでに招待する友人の申請は済んでおり、生徒会の概算では、二日間で五千人！近い人間が、滝学園の敷地内にあることになるらしい。

なお、家族に関しては入場数に制限はない。家族チケットはもうしばらくすると配布される予定。

GENESIS...創世記・起源

高3 A 渡会美帆



中学館は、展示企画が中心。毎年催される「お化け屋敷」は人気があり、廊下に待ち人の列ができるので、午後一番などを狙うとよいかも。ステージ企画は講堂で行われる。

高校2年生・3年生が授業で使用する6、7号館では、高校クラス企画が展開されます。あわせて有志やクラブ単位での発表もあるので、楽しめそう。

19日 注目企画 報恩館に

広河隆一氏来る

1943年生まれ
早稲田大学卒業後、中東諸国で難民の取材活動に関わる。その後、チェルノブイリ、薬害エイズ、アウシュビッツなど、人間が生み出す悲劇とともに歩むフォトジャーナリスト。DAYS JAPANを創刊。

講演会「ジャーナリストと戦争」

20日 ゲスト 体育館にて

Mi (エムアイ)
フジテレビ系あいのり主題歌「未来の地図」を歌う、現役女子高生・女子大生の3人組ユニット

楽しんだら 食べる

模擬店は現在、10数店舗が開店準備に入っており、その調理予定品数は50品弱にのぼる。食券に関しては、生徒は事前購入に、一般の方は当日購入になる運び。